

平成 17 年 12 月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 17 年 4 月 28 日

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー (JASDAQ・コード番号：2777)

(URL <http://www.cassina-ixc.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 月岡 和夫

問い合わせ先 責任者役職名 取締役執行役員管理本部長

氏 名 小林 要介

(Tel : (03) 5725 - 4171)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高 (又はこれに相当する事項) の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 17 年 12 月期第 1 四半期業績の概況 (連結) (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,340	(7.3)	207	(24.9)	205	(25.9)
16 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,523	(13.2)	276	(23.2)	276	(18.5)
(参 考) 16 年 12 月 期	10,251		1,321		1,299	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

(ご参考)

平成 17 年 12 月期第 1 四半期業績の概況 (個別) (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(表示単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,339	(0.5)	186	(28.9)	187	(28.8)
16 年 12 月 期 第 1 四 半 期	2,351	(11.7)	261	(30.0)	263	(23.8)
(参 考) 16 年 12 月 期	9,807		1,278		1,269	

(注)パーセント表示は対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗情報に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成17年1月1日～平成17年3月31日）におきましては、平成17年2月に生活雑貨のアレッシィショップセントレア（中部国際空港）店、平成17年3月には東京都渋谷区への新規出店（カッシーナ・イクスシー プライベート店）や百貨店内へのインショップを展開するなど、販売力の強化に努めてまいりましたが、東京都渋谷区の新規出店に伴う人材の異動による青山本店の売上低下、大阪店における改装期間中の集客の低下などにより同店舗における売上が低下いたしました。さらに平成16年8月に連結子会社であった株式会社トライアスの株式を売却した結果、同社は持分法適用関連会社となり、連結売上高については減収（株式会社トライアスの前年同期売上高 171 百万円）となりました。収益面では新規出店に伴う経費の増加、広告宣伝等により一般管理・販売費が先行的に発生しました。

この結果、当第1四半期の連結業績につきましては、売上高 2,340 百万円（前年同期比 7.3%減）、営業利益は 207 百万円（前年同期比 24.9%減）、経常利益は 205 百万円（前年同期比 25.9%減）となりました。

また、セグメント別事業の状況は以下のとおりです。

家具事業

家具事業においては平成17年3月に東京都渋谷区にカッシーナ・イクスシー プライベート店を新規出店、同年同月に西武百貨店池袋店にイクスシーコーナーを開設いたしました。また、大学や企業における中型案件の受注が複数あったものの、ショップ部門における売上の伸び悩みにより売上は減少しました。さらに平成15年秋より発売を開始した、比較的手頃な価格帯の「イースト・バイ・イーストウエスト」シリーズの売上が順調に推移しました。この結果、当第1四半期の売上高は 2,042 百万円（前年同期比 0.5%減）、営業利益は 250 百万円（前年同期比 29.3%減）となりました。

生活雑貨事業

生活雑貨事業におきましては、アレッシィショップセントレア（中部国際空港）店の新規出店を行いました。引き続き問屋卸しの拠点開発が進まず、売上は微減となりました。この結果、売上高は 265 百万円（前年同期比 0.3%減）、営業利益は 2 百万円（前年同期は 11 百万円の営業損失）となりました。

その他の事業

当事業年度は大阪店のリニューアルによるカフェの集客増加等により、売上高は 32 百万円（前年同期比 1.6%増）、営業利益は 11 百万円（前年同期比 0.3%増）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成17年12月期の連結業績予想

当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成17年2月18日発表の平成17年12月期（平成17年1月1日～平成17年12月31日）の通期の業績予想に関して変更はございません。

以上